

変革の歴史

BIPROGYグループはコンピューター黎明期である1958年の創立以来、時代のニーズに応えながら、日本の情報化社会の発展を支えてきました。さらに今後は、社会課題の解決の取り組みを加速させ、社会的価値創出企業に変革していきます。

1947年 日本レミントン・ユニバック(株)の前身となる吉澤機器(株)設立

1958年 日本レミントン・ユニバック(株) (現BIPROGY(株)) 設立

1971年 日本ユニバック(株)、東証一部上場に指定替え

1977年 日本で初めて商用コンピューターを株式会社東京証券取引所と野村證券株式会社に設置

1977年 金融機関向けソフトウェア「FAST」を開発

1977年 国内初のオンラインバンキング処理開始

1977年 世界初のWindowsでの「フルバンキング」勘定系システム「BankVision」の稼働開始

1988年 日本ユニバック(株)とパロース(株)が統合、日本ユニシス(株)発足

1988年 日本レミントン・ユニバック(株)が日本ユニバック(株)に社名変更

1991年 統合CAD/CAMシステム「CADCEUS(キャドシナス)」の販売開始

1997年 インフラータルサービス子会社ユニアデックス(株)設立

2007年 電気自動車の充電インフラシステム「smart oasis」を提供開始

2007年 世界初の「フルバンキング」勘定系システム「BankVision」の稼働開始

2009年 自動車事故削減、エコ運転を支援する「無事故プログラムDR」を提供開始

2012年 大日本印刷(株)と新規市場拡大を実現する事業基盤の強化に向けた業務資本提携

2013年 世界初、オープンシステムによる国内線旅客システムの稼働開始

2017年 ベンチャーキャピタル事業を行うキャナルベンチャーズ(株)設立

2017年 オープンAPI公開基盤「Resonatex(レゾナテックス)」のサービス開始

2017年 国内初、パブリッククラウドでのフルバンキングシステム稼働開始

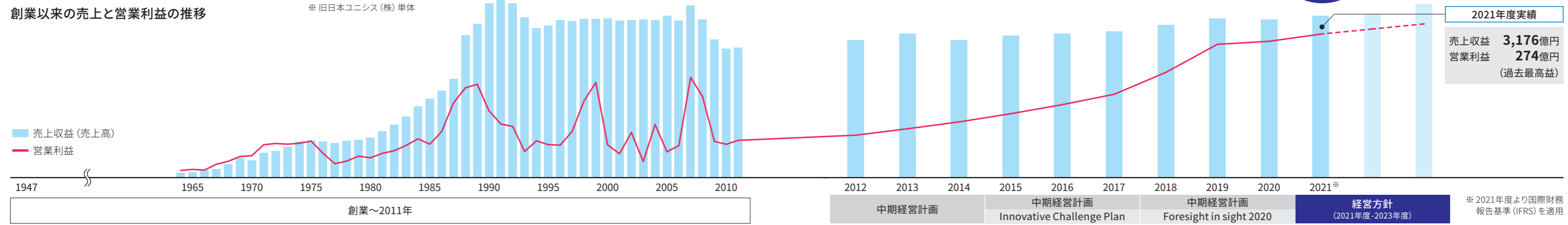
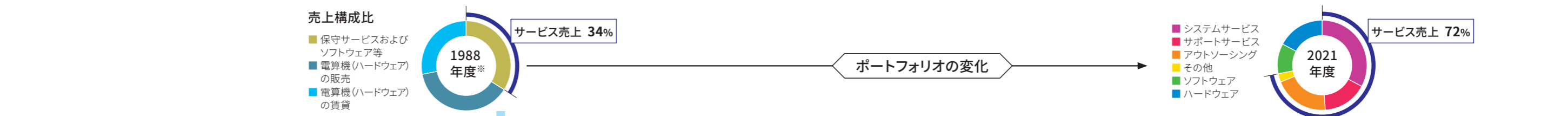
2020年 共創的事業創出を行うEmellience Partners(株)設立

2020年 AI需要予測に基づくクラウド型自動発注サービス「AI-Order Foresight」の提供開始

2021年 グリーンデジタル&イノベーション(株)設立

2021年 サービス利用型コマース事業基盤「Omni-Base for DIGITAL ATELIER(デジタルアトリエ)」の稼働開始

2022年 日本ユニシス株式会社からBIPROGY株式会社に社名変更



事業

- ◆ 1955年 日本で初めて商用コンピューターを株式会社東京証券取引所と野村證券株式会社に設置
- ◆ 1967年 日本で初めてオンラインバンキング処理開始
- ◆ 1977年 金融機関向けソフトウェア「FAST」を開発
- ◆ 1977年 国内初のオンラインバンキング処理開始
- ◆ 1977年 世界初のWindowsでの「フルバンキング」勘定系システム「BankVision」の稼働開始
- ◆ 1991年 統合CAD/CAMシステム「CADCEUS(キャドシナス)」の販売開始
- ◆ 2007年 電気自動車の充電インフラシステム「smart oasis」を提供開始
- ◆ 2007年 自動車事故削減、エコ運転を支援する「無事故プログラムDR」を提供開始
- ◆ 2009年 世界初の「フルバンキング」勘定系システム「BankVision」の稼働開始
- ◆ 2013年 世界初、オープンシステムによる国内線旅客システムの稼働開始
- ◆ 2017年 オープンAPI公開基盤「Resonatex(レゾナテックス)」のサービス開始
- ◆ 2020年 AI需要予測に基づくクラウド型自動発注サービス「AI-Order Foresight」の提供開始
- ◆ 2021年 国内初、パブリッククラウドでのフルバンキングシステム稼働開始
- ◆ 2022年 サービス利用型コマース事業基盤「Omni-Base for DIGITAL ATELIER(デジタルアトリエ)」の稼働開始

社会変化 → **業務効率化・コスト削減** → **経営の意思決定や事業拡大の支援** → **構造改革の支援** → **ビジネス変革・ビジネス創出** → **社会課題の解決**

BIPROGYの対応

日本の情報化社会の形成および多様なシステム構築を通じた顧客の事業拡大、構造改革を支援

1950年代に入ると高度経済成長により、企業では業務効率化やコスト削減の需要が拡大しました。吉澤機器(株)(BIPROGY(株)の前身)は大手証券会社や金融機関に日本初の商用コンピューターを納入した後、大型コンピューターによる大規模なオンラインシステムを続々と稼働させ、今日につながる日本の情報化社会の形成に貢献しました。その後、経営の合理化・スリム化の流れの中で、顧客の業務アウトソーシング、オープンシステム化に対応するとともに、幅広い業務知識を活かし、顧客の事業拡大や事業構造改革に寄与しました。

社会課題を解決するビジネスエコシステムを創出し、社会的価値創出企業へ

2000年代には、ICTによる業務効率化が行き渡り、ICTを活用した新ビジネスや生活スタイルの創造が始まりました。また、デジタル技術の進展により、さまざまな産業で業種・業態の垣根が格段に低くなっています。BIPROGYグループは、ICTで培ってきた経験と実績を活かして、多様な強みを持つ異業種の顧客とパートナーを結び付けるビジネスエコシステムにより社会課題を解決し、社会の共有財であるデジタルモズを誰もが幸せに暮らせる社会づくりを推進する仕組みに育てていきたいと考えています。

持続可能な社会の創出

ICTに求められる価値・機能

メインフレーム クライアントサーバー ソリューション モバイル ERPパッケージ クラウド ビッグデータ IoT AI ロボティクス スマートテクノロジー デジタルトランスフォーメーション